

道東の自然を楽しむ

釧路市医師会
釧路脳神経外科病院

もりなが かずお
森永 一生

私が長年勤務した苫小牧の病院から釧路の病院に転勤になり、2年が経ちました。

以前の職場との大きな違いは、手術場勤務がなくなり、緊急呼び出しが激減したため、休日が本当の意味での「休日」となったことです。その結果、北海道の自然を楽しむ機会がとて増え、同じ北海道でも桁違いな道東の自然の豊かさに感動しながら、日々を送っています。

まずは山菜の豊富さです。目を疑うほどの群生地が拡がり、あっという間に袋いっぱいになります。タラの芽、ギョウジャニンニク、ハマボウフウ、山ウド等々、枚挙に暇がありません。

次は、野生動物です。丹頂鶴の立ち姿は本当に美しいし、霧多布のラッコ（最初はアザラシだと思っていました）、大空を舞うオジロワシ、迫力あるエゾフクロウの狩り、愛嬌のあるシマエナガ、緑地区のサクラマスの滝登り……

北海道人はエゾシカ、キタキツネには見向きもしませんが、道東の人達もツルやオジロワシについて

は似たような反応しか示しません。

春に咲く花についても同様で、今年はフクジュソウの当たり年で、至る所に群生しています。根室の長節湖付近のオオバナノエンレイソウ、クロユリの群生地には驚きました。そこには見事な景色が広がるのですが、私達以外誰もいません。

厚岸のあさり潮干狩りもすごいです。30分もしないうちに約3-4kgとれます。サイズも大きく、こんなにとれる潮干狩りを私は経験したことがありません。

あまり知られていませんが、釧路湿原のホタルも見事です。私は沖縄、オーストラリアでホタル観賞ツアーを経験していますが、道内ではここまでの乱舞は見たことがありませんでした。まだ釧路湿原に生息するキタサンショウウオの青く光る卵は、見たことがありません。産卵地はシークレットのようで、いつか見つけてみたいと思っています。

私が釧路に赴任した頃、釧路で初めて新型コロナウイルス感染症による死者がでた時でしたが、道東の大自然のおかげで、ほとんどストレスのない日々を過ごせています。

私の病院には通院時間片道2時間以上という患者さんが普通にいて、しかもほとんどの人がそれを苦にしている様子はありません。当院は予約なしでMRI、MRAが可能な数少ない病院ですので、このような遠方から来る患者さんのニーズには合致しているかなと思います。今後も患者さんから多くの情報を頂きながら、道東地区の医療圏を考慮した、当院にできる役割を果たしていきたいと思っています。



① 丹頂鶴の飛翔の瞬間



② 釧路愛国のフクジュソウの群生



③ 根室長節湖のクロユリの群生



④ 達古武のコゴミの群生